

2020年度スポーツ庁委託事業

「Special プロジェクト2020（特別支援学校等を活用した地域における障害者スポーツの拠点づくり事業）」成果報告書

令和3年（2021年）4月
滋賀県

本報告書は、スポーツ庁の委託事業として、滋賀県が実施した「2020年度 Special プロジェクト2020（特別支援学校等を活用した地域における障害者スポーツの拠点づくり事業）」の成果を取りまとめたものです。

従って、本報告書の複製、転載、引用等にはスポーツ庁の承認手続きが必要です。

1 経緯

近年、滋賀県内の障害者スポーツ大会参加者は高齢化や参加者の固定化により、参加者数は減少傾向にある。障害のある人の運動機会が一般成人に比べ低いことも笹川スポーツ財団「地域における障害者スポーツ普及促進事業」(2016)の調査で明らかになっているように、本県においても障害のある人のスポーツをする機会を創出し、身近にスポーツに親しめる環境を作る必要がある。

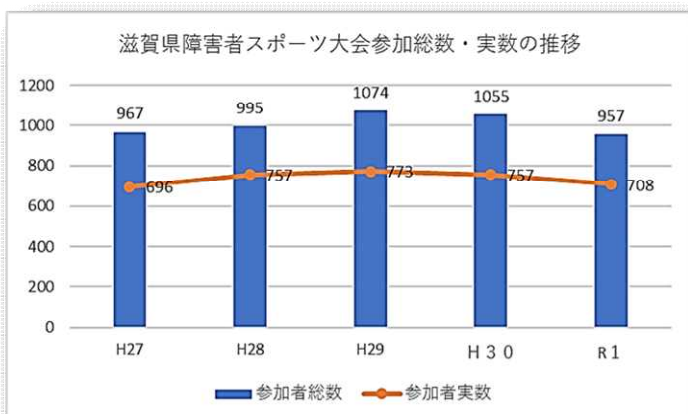
このような中、これまで本県では、平成28年度から特別支援学校の体育館を使用して、障害者が身近な地域で継続的にスポーツに親しめる環境づくり、定期的に運動する機会を創出することを目的に、地域のスポーツ団体等の協力を得て取組を進めている。一方で、2021年の「東京オリンピック・パラリンピック2020」、2022年の「ワールドマスターズゲームズ2021 関西」、そして県においては、2025年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催されるこの期間を、スポーツの「ゴールデン・イヤーズ」と捉え、スポーツの機運が高まりつつあるこの機会を利用し、より効果的に障害者のスポーツ環境をより整える必要がある。

具体的には、パラスポーツチャレンジプロジェクトの事業名で休日に特別支援学校を地域に開放し、障害のある参加者が定期的に運動する機会として、また、障害のある人ない人が、気軽に楽しく取り組める軽スポーツ教室を地域のスポーツ団体の実施主体となりながら、様々な関係機関とのネットワークを構築し、永続的に事業が継続されるように努める必要があることから、会場となる特別支援学校の部活動に総合型地域スポーツクラブの指導者を派遣し、軽スポーツ教室を実施することで、若年層のスポーツに親しむ機会を創出し、休日の事業に参加に繋げられるよう取り組んできた。継続的に事業を行うことで、一定の参加者を獲得することができ、参加者の満足度も得られ、実施主体となる指導者やスタッフの障害者への理解も深まりつつある。

これまでの取組で明らかになった課題の解決に向け、本事業の実施を通じ、県、市町(地域)、学校、障害者団体等の様々な連携・協力体制を得られるようネットワークを強化し、地域のスポーツ団体等が自立して事業を展開できる運営能力(人材や財源の確保、周知方法等)を獲得する必要がある。

また、一方で新型コロナウイルスの感染拡大により、新たな生活様式を意識しながら感染防止対策を講じて事業を進める必要がある。参加者はもちろん実施主体者も安心、安全にスポーツに親しめる機会を創出するために、関係機関が連携しながら事業を進める必要がある。

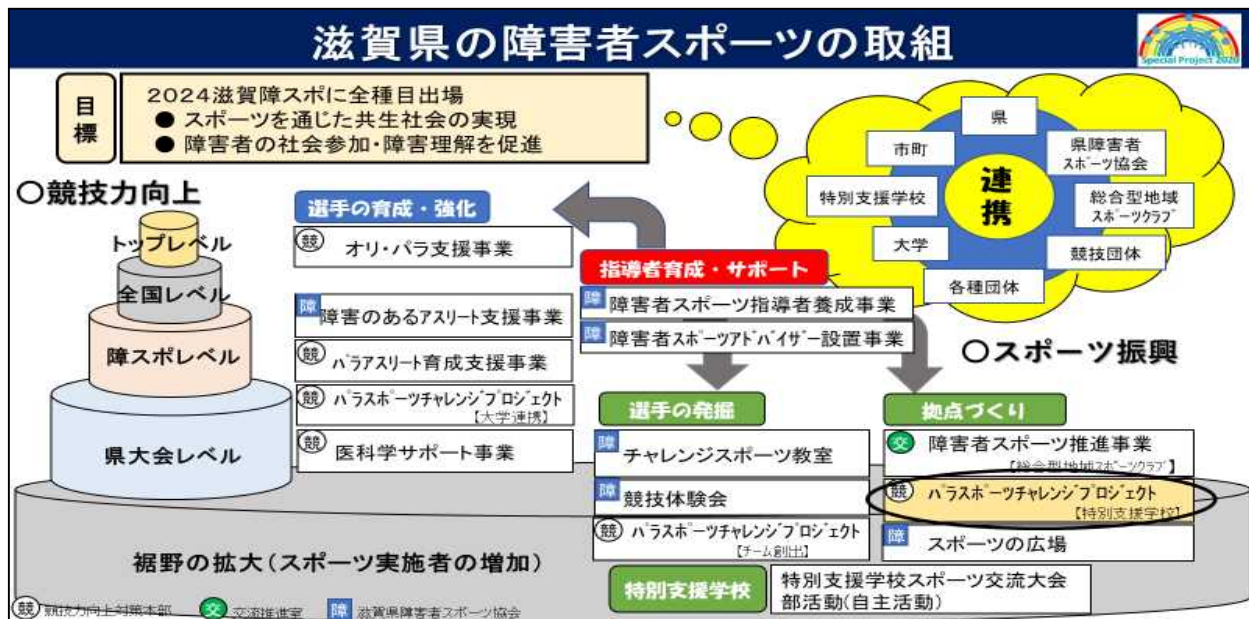
* 参考【県大会参加者総数・実数の推移】(単位:人)



※ R2は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

内訳		年度	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019
参加者 実数	目標値		-	-	800	820	840
	結果		696	757(+61)	773(+16)	757(Δ16)	708(Δ49)
参加者総数			967	995(+28)	1,074(+79)	1,055(Δ19)	957(Δ98)

* 本県の障害者スポーツの取組（パラスポーツチャレンジプロジェクト【特別支援学校】が本事業）



* パラスポーツチャレンジプロジェクト事業の概要（囲みが本事業）

事業名	目的	内容	活動場所	委託先
特別支援学校等活用	特別支援学校の体育施設を活用し、在校生、近隣住民の交流の機会を創出する。	障害児・者を対象とした軽スポーツ教室の実施 * スポーツ庁委託事業	県立三雲養護学校	(公財) 湖南省文化体育振興事業団
団体チーム創出	これまで滋賀県内になかった全国障害者スポーツ大会の団体種目のチーム創出をめざす。	知的障害者のバレーボール教室の実施	・湖南省総合体育館 ・県立三雲養護学校	(公財) 湖南省文化体育振興事業団
大学連携	大学と地域の特別支援学校等との連携をすすめ、専門的な助言、指導体制を構築するとともに、地域に開かれたスポーツ活動の場を作る。	<ul style="list-style-type: none"> 学生が、特別支援学校の陸上競技、バスケットボール部への指導者派遣 障害者スポーツに関するイベント実施 	<ul style="list-style-type: none"> 県立草津養護学校 立命館大学(BKC) 	立命館大学(BKC)
			<ul style="list-style-type: none"> 県立愛知高等養護学校 	聖泉大学

2 目的

本事業では、県内特別支援学校のうち1校を対象として、休日に体育施設を地域に開放し、近隣の障害者、その保護者やスポーツ関係者を交えたスポーツ活動が定期的に行えるよう試み、在学中、卒業後も当事者が慣れ親しんだ環境でスポーツを継続的に実施することができる環境づくりを目指した。

具体的には、県立三雲養護学校を拠点として、地域のスポーツ団体をはじめとする関係

団体相互のネットワーク構築を図りながら、将来にわたり継続して事業が実施できる体制づくりを目指し取り組んだ。

3 事業の概要

2

(1) 実施体制について

- ・事業の実施体制については、パラスポーツチャレンジプロジェクト実行委員会を組織し、特別支援学校を拠点とするスポーツ活動の場を作るため、スポーツ教室の運営について全3回実施した。
- ・実行委員の構成は、進捗管理やスポーツ教室の運営に幅広い知見が得られるよう、特別支援学校、滋賀県障害者スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ、障害者の保護者等で構成する手をつなぐ育成会、滋賀県障がい者スポーツ指導者協議会、県立障害者施設、滋賀県文化スポーツ部スポーツ課（事務局）とした。また、オブザーバーとして会場のある市教育委員会のスポーツ主管課に参画いただいた。

(2) 実行委員会の役割

- ・特別支援学校を拠点とするスポーツクラブ推進のため、クラブの運営について協議する。
- ・地域に開かれた障害者スポーツの拠点とするために、実施主体者(再委託先)にそのノウハウを還元するとともに、特別支援学校や地域の関係機関との関係を構築する。
- ・継続的に活動できるように地域の関係者が中心となってサポートする。

* 実行委員会の体制

実施体制および実行委員会について

■ 実施体制

■ 実行委員会の位置づけ

- ・特別支援学校を拠点とするスポーツクラブ推進のため、クラブの運営について協議する。
- ・地域に開かれた障害者スポーツの拠点とするために、実施主体者(再委託先)にそのノウハウを還元するとともに、特別支援学校や地域の関係機関との関係を構築する。
- ・継続的に活動できるように地域の関係者が中心となってサポートする。

No.	所属団体等
1	滋賀県立三雲養護学校（特別支援学校：施設開放）
2	滋賀県障がい者スポーツ指導者協議会
3	湖南市ちよいスポクラブ（総合型地域スポーツクラブ）
4	公益財団法人湖南市文化体育振興事業団(再委託先)
5	湖南市手をつなぐ親の会
6	甲賀市手をつなぐ育成会
7	滋賀県立近江学園（県立障害者施設）
8	滋賀県障害者スポーツ協会
オブザーバー	湖南市教育委員会生涯学習課
事務局	滋賀県文化スポーツ部スポーツ課（事務局）

4 実績

新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、当初の計画より回数は若干少なくなったが、実施するために必要なことを実行委員会で検討しながら、事業を進めることができた。

- ・軽スポーツ教室は、知的障害者を対象に全5回実施し、参加者は延べ60名の参加となった。
- ・会場となる特別支援学校の部活動へ指導者を1回派遣し、軽スポーツ教室を実施した。
(詳細は表の通り)
- ・それぞれの事業には、総合型地域スポーツクラブの指導員に協力を依頼した。
- ・活動の内容は、感染症対策を講じて、比較的簡単で親しみやすいようなスポーツを実施した。
- ・スタッフは、総合型地域スポーツクラブの指導員に協力を依頼した。
- ・会場となる特別支援学校の部活動へ指導者を派遣し軽スポーツ教室を実施した。

*** 実施日程表**

実施時期	(1) 実行委員会		(2) 軽スポーツ教室		(3) 部活動指導者派遣	
	回	内容	回	内容	回	内容
6月		実施に向けての打ち合わせ、委員の推薦				
7月	第1回	事業目的・計画共有				
8月						
9月			第1回 (プレ)	ビンゴボール * 感染症防止対策を図るために試験的实施		
10月			第2回	カローリング		
11月			第3回	ファミリーバドミントン	第1回	大縄跳び、ファミリーバドミントン
12月	第2回	進捗確認・課題等の情報共有・次年度に向けて	第4回	コップビンゴ、おじゃビンゴ		
1月			第5回	※中止		
2月	第3回	総括・次年度の計画	第6回	輪投げ、ストラックアウト		
3月						

*** 事業の概要**

実施場所			滋賀県立三雲養護学校		
事業内容	回数	日時	種目・内容	参加者数	指導者数
	部活動	11月17日	・ファミリーバドミントン ・大縄跳び	14名	指導者4名 (教員6名)
	1	9月19日	ビンゴボール	8名	指導者8名
	2	10月17日	カローリング	2名	指導者8名

3	11月21日	ファミリーバドミントン	14名	指導者8名
4	12月19日	・おじゃビンゴ ・コップビンゴ	12名	指導者8名
5	1月16日	※中止	—	—
6	2月6日	・ストラックアウト ・輪投げ	10名	指導者4名
延べ人数			60名	40名

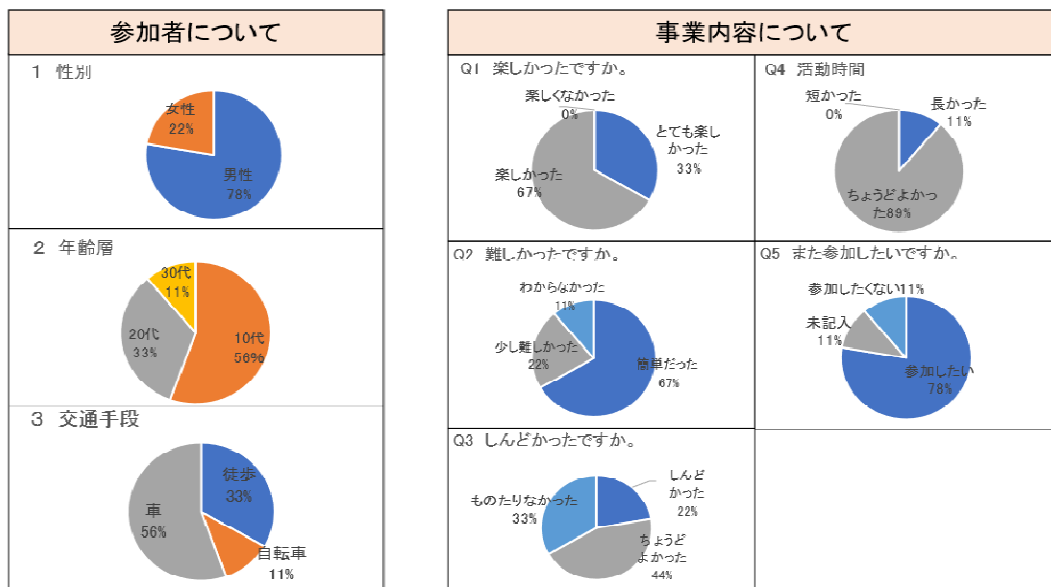
* 活動の様子



* 参加者アンケートの結果

第6回軽スポーツ教室で、参加者アンケートを実施

- ・実施日時：令和3年2月6日(土)10:00~11:30
- ・参加者：参加者9名 スタッフ他:5名



5 新型コロナウイルス感染防止にかかる対応

コロナ禍の中で、「どうすれば事業を実施できるか」という視点で、実行委員会、関係者が対策を検討しながら事業を実施することができた。一方で、参加者は外出の自粛や運動不足によりスポーツのニーズが高まり、事業の有効性を認識することができた。

主な対応の成果と課題は、以下の通りである。

5

(1) 申込

これまで当日自由参加可としていたが、申込制にして参加者の人数制限をする。

【課題】

事務方の負担増(申込まとめ等)。「いつでも気軽に」という訳にはいかない。

(2) 受付

参加者氏名、連絡先の記入。検温の実施。

【課題】

自分で記入できない人がいる。時間がかかる。

(3) 内容

三密回避の活動設定

【課題】

人との距離を取るのが難しい人や言葉の指示が難しい人等へのかかわり方が難しい。

(4) 体制・スタッフ

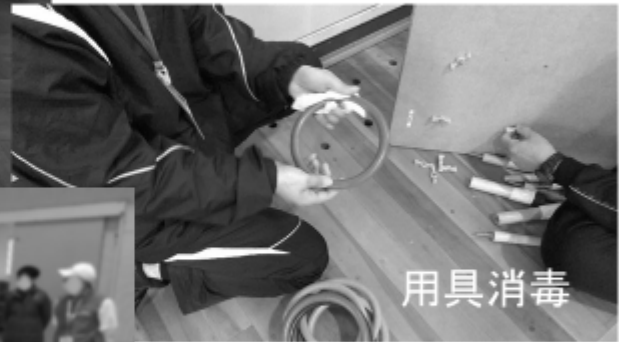
- ・ 第1回目を「プレ事業」として試験的に実施 (受付体制等スタッフの動き、注意・配慮点の確認)

⇒ ○スタッフ間の共通理解とコロナ禍での活動実施への不安解消

- ・ 事業後に反省会の実施

⇒ ○感染症対策だけでなく、障害者へのかかわり方など話をする機会を設けることができた。

* 対応の様子



* 案内・申込書

6

令和2年度 スポーツ庁委託事業「Specialプロジェクト2020」

パラ スポーツチャレンジデー

うれしい、たのしい、だい好きスポーツ！
飛んで、跳ねて、はじめてのおどびを体験しよう！

はじめての人でも、参加しやすい軽スポーツ教室です。

◆日時 午前10時～午前11時30分

回数	月	日	曜日
1	10月	17日	(土)
2	11月	21日	(土)
3	12月	19日	(土)
4	1月	16日	(土)
5	2月	6日	(土)

◆会場 県立三雲養護学校体育館 [湖南省相子袋1546]

◆参加費 無料です！

◆持ち物 上履き、水筒、タオル ※動きやすい服装でお越しください

◆対象 障がい者（保護者、お友達も一緒に来てね！）

◆定員 20名程度 ※定員になり次第しめきり

◆申込み 裏面の申込書に記入の上、FAXでお申し込みください。
※参加枠は、各開催日3日前とします。定員に達した場合、その後の申込者には、電話にてご連絡いたします。

◆感染予防対策 ・前日、自宅での検温結果が発熱(37.5℃以上)の人は、参加を控えてください。
・受付の際は、検温にご協力ください。マスクの着用をお願いします。
・新型コロナウイルス感染状況により、中止する場合は、事前に連絡します。

◆その他 ・午前7時の時点で、湖南県内に悪風警報または特別警報が発令された場合は中止といたします。
中止の際は、下記ホームページに掲載いたします。

◆主催 (公財)湖南省文化体育振興事業団 & 湖南省ちよいスポクラブ
パラスポーツチャレンジプロジェクト・滋賀県競技力向上対策本部

個人用

令和2年度 パラスポーツチャレンジデー 申込書

湖南省文化体育振興事業団 中松 あて
FAX 0748-72-7305

ふりがな		性別	年齢
名前		男・女	歳
保護者名 引率者名			
住所			
電話番号 (自宅 or 携帯)			
参加希望日 (複数選択可)	開催日	参加希望に○を記入 (複数選択可)	
	10月17日(土)		
	※締切・開催日3日前 11月21日(土)		
	※定員に達した場合、 その後の申込者には、 電話にて連絡をいたし ます。 12月19日(土)		
	1月16日(土)		
	2月6日(土)		
備考	配慮事項等がありましたら、お知らせください。		

※用紙が足りない場合は、お手数ですがコピーしてください。

◆ 申込方法 ◆

申込書に必要事項を記入の上、湖南省文化体育振興事業団まで、FAXでお申し込みください。
※ご記入いただいた個人情報については、本事業への参加調整事務に使用し、それ以外の目的には使用いたしません。

◆ 申込先および問合せ先 ◆

〒520-3234
湖南省中央5丁目57番地 湖南省甲西文化ホール内
(公財)湖南省文化体育振興事業団
TEL:0748-72-2133 / FAX:0748-72-7305
E-MAIL:nakamatsu@konan-buntai.jp

6 効果

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、会場の確保や実施形態、参加者への周知など感染症防止対策を講じながら実施することができた。
- ・新型コロナウイルスの影響で、身体を動かす機会が減った中で、障害者が楽しくスポーツをする機会を創出でき、参加者からも好評であった。
- ・地域のスポーツ団体が、障害者スポーツに取り組むノウハウを取得するとともに、会場となる特別支援学校との施設借用をスムーズに行うことができた。
- ・近隣のグループホームや放課後等デイサービス、障害者施設を訪問することで、定期的に参加する個人・団体を得ることができた。

7 今後の展望と課題

平成28年度より取り組んできた事業の成果を生かしながら、今後は総合型地域スポーツクラブが、地域での障害者スポーツ実践を通じ、障害者が身近な地域でスポーツができる環境を整えるために、国や県の支援を視野に入れながら事業を継続する。

【今後の課題と方向性】

- ・ 参加者の拡大と事業の定着
 - 特別支援学校や近隣の施設、グループホーム、放課後等デイサービス等への参加促進。部活動への指導者派遣を通じて 軽スポーツ教室への参加に繋げる（卒業後の活動場所）。
- ・ スタッフの確保
 - 障害者スポーツに携わるスタッフの確保。
- ・ 財源の確保
 - 地域で障害者スポーツに取り組む「総合型地域スポーツクラブ」として、県の事業を活用して継続。参加者の経費負担の検討。
- ・ 特別支援学校の施設活用
 - 県教育委員会と連携しながら、地域のスポーツクラブ等が、特別支援学校の体育施設を活用できるよう働きかける。
- ・ 障害者スポーツのすそ野拡大の事業
 - 障害の有無にかかわらず、誰もが楽しめるスポーツ活動の場として継続して実施する。